

すくすくちびっこだより

—すくすくちびっこだよりは、

子育て中のお母さん達により作成されています—



保育園入園準備号

11月に入ると、町内保育園の入園申し込みが始まります。入園準備って大変そう…。朝、間に合うように送り出せるかな?などなど、入園後の生活に不安を感じている方もいらっしゃると思います。そこで、今回は保育園入園準備号として、我が家の一日のルーティーンを紹介します。朝のバタバタ、夕方のお風呂～寝かしつけまで、保育園児のいる生活ってこんな感じ!! 入園後の生活をイメージして、お互いに日々の子育て頑張りましょう。

	母	息子(1歳8ヶ月)	娘(年少)	父
6:00	起床。化粧を済ませる。			
6:30～	朝食準備	起床・着替え・パンツ替え・トイレなど		起床。子どもたちの準備をしながら自分の準備
7:00				朝食 終わり次第出勤
7:20頃	朝食			
7:45頃	朝食片付け、子どもたち歯磨き、髪結び、体温測定など登園準備 Eテレは神様その①	食べ終わり次第TV		
8:30	保育園登園			
9:00	保育園送ったついでに買い物 または 帰って家事			保育園
9:30頃	帰宅・昼食準備			
10:00	支援センター行ったり公園行ったり買い物行ったり…			
11:30頃	帰宅・昼食・パンツ替え			
12:30頃	昼寝…YouTube 見たり、家事したり、一緒に寝る時も			
15:30頃	起こして保育園迎え			
16:00	帰宅・手洗い・おやつ			
16:30頃	室内遊び ブロック、おままごと、絵本とか たまに散歩			
17:00	夕飯準備	TV Eテレは神様その②		
18:30頃		お風呂		帰宅・子どもとお風呂
19:00	夕飯			
19:30頃	お風呂	TV 見たり絵本読んだりおままごとしたり	子どもと遊びつつ洗濯物畳み	
20:20頃	夕飯片付け	寝る準備 歯磨き・着替え・トイレ・パンツ替え	子ども対応	
21:00	寝かしつけ	ベッドでゴロゴロ	寝かしつけ そのまま寝落ち。	
22:00	夕飯片付けの残り、洗濯物畳み、夜のうちに洗濯干しておく。 保育園の持ち物確認・連絡帳記入 終わったら自由時間・就寝	21:30頃寝る	寝なかつた時は家事を手伝ってくれる。	

☆これは、あくまで我が家のことでもっともスムーズにいける時の例です。それぞれのご家庭で最適なスケジュールや家事分担が見つけられるといいですね。

○編集・発行 ちびっこだより制作委員会
○問い合わせ 子育て支援センター
いろはぼけっと
OTEL 0265-71-1560
OFAX 0265-71-1561

You Tube などで検索
すると沢山出て来ます!!

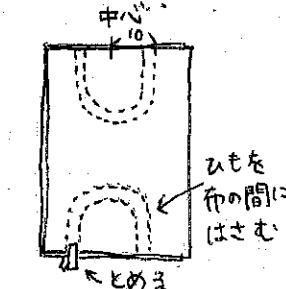
通袁 バックの作り方

材料(裏地付き)

★32cm×82cmの布 2枚
(ぬいじ31cm合)

★持ち手のひも 42cmを2本

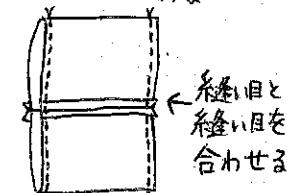
- ① 中表になるように布を重ね、持ち手のひもを中心から10cm位の所に置き、マチ針や洗濯バサミで"とめておく。



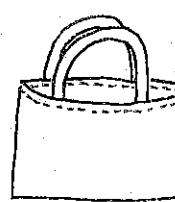
- ② 上は立端から立端まで"糸逢い、下は真ん中6cm位開けて糸逢う。必表に返す時の穴になります。



- ③ 糸逢た所が中巴にくるように、それぞれの布を半分に折り、横を糸逢う。



- ④ ②で開けておいた穴から布を表に返して、裏布を表布の中に入れる。入口に立端から5mm位の所を一周糸逢う。
※穴を小さく+布をあさるため。



- POINT
・表か裏どちらかの布をキルティングにするしっかりした袋になります!!
・裏地をつけると立端の処理がなくて◎!!
・③で中巴の縫目が合っていると仕上がりがキレイに!!

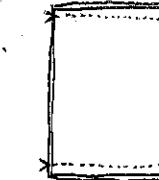
お弁当袋の作り方

材料(裏地付き)

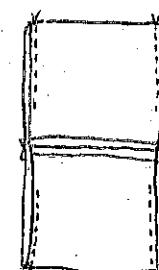
★25cm×34cmの布 2枚
(ぬいじ31cm合)

★ひも 60cmを2本

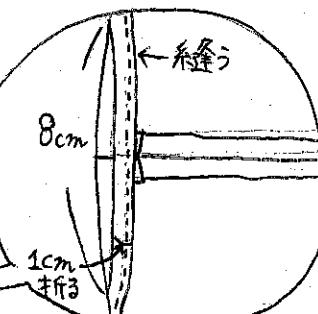
- ① 中表になるように布を重ね、上下を糸逢う。



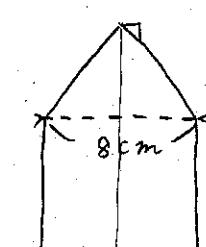
- ② 糸逢た所が中巴にくるように、それぞれの布を半分に折り、横を糸逢う。この時真ん中を8cm位開けて糸逢う。



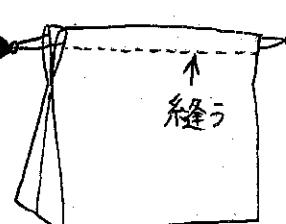
- ③ 8cm開けた所をぬいじ31cmで折り糸逢う。
※ミシンでやりにければ手縫いでOK!



- ④ マチを作る。角をつまみ、マチが8cmになるように三角に折り糸逢う。



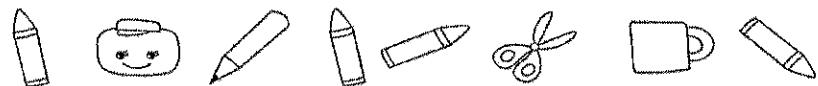
- ⑤ ②で開けておいた穴から布を表に返して、裏布を表布の中に入れる。上から1.5cmの戸口を糸逢い、ひもを通して完成!!



実際に入園準備を経験した方から大変だったこと、便利だったことなどをアンケートしました！
これから入園準備をされる方、すでに入園しているご家庭でもこれからも続く名前付けの参考にしてみてください！

Q1. 入園準備で大変だったこと・困ったことは？

- そもそも何を、どんなものを準備するのか分かりづらかった
- 名前付け（とにかく名前付けするものが多い！・靴下の名前付けしてもすぐ取れてしまう）
- 袋小物の準備（・防災頭巾など特に細かいサイズの指定記載がないものの制作・布団カバーなど大きなものの制作・布団にタオルやネームテープをつけること）
- 何に使うものかわからなかったため、どうやって準備していいかわからなかった。（通園バッグの記載があり、毎日使うものと思っていたら園に置いておくものだった）
- わが子が自分で使えるスプーン＆ケースを探すのが大変だった。
- ビニール袋や雑巾など備品も多く持っていく必要があり大変だった。



Q2. 入園準備で使ってよかったもの、購入して良かったもの、便利なワザ、実際の感想など。

使ってよかったもの・購入して良かったもの

- オーダーの名前シールの購入（・防水で食洗機OKのものを購入・無料でもらえるものがあった・タグに貼って洗濯してもとれないシールを購入・アイロンシール・ネットショップに多数の可愛いのもがある）
- 名前スタンプ（・おむつを持っていく人はあれば便利・入園直前ではなく余裕をもって早めに購入しておいた・布やプラスチックにも押せるものを購入）
- 布団カバーには紐と名札つきのものを購入した。
- ゴムとボタンが付いたエプロンを購入した。
- 袋などは市販のものを準備した。
- 通園バッグや着替え袋の名前付けは、ネームテープを使うよりもひらがなワッペンを使うと名前がはっきり見やすくなれる。
- ラベルメーカーの名前アイロン、シール
- 市販の寝具を購入し、掛布団は洗えるが敷布団は洗えないものだったので、念のため防水シーツを準備した。

- 布用ネームペンを使用するとじまなかった。
- ジッパータイプの小分け袋をよく使う。
- 防水の布団袋を購入した。

名前付けの便利ワザ

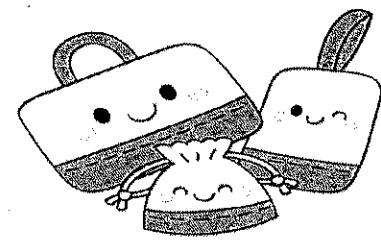
- 未満児で使用するタオルエプロンやガーゼのスタンプはすぐに消えてしまうので、アイロンシールや縫い付けると名前が見やすかった。
- 白のマスキングテープは名前を書いて貼ってもはがれにくい。
- タグに書くときには濡らしてから書くとにじまない。
- タグに整髪スプレーを吹きかけ、乾いてから名前を書くとにじまない。
- 名前のアイロンシールは結構な頻度で取れてしまうので、名前シールにするかミシンの刺繡機能を使ったほうが便利かもしれない。
- 小さいアイロンシールやワッペンはヘアアイロンで挟んで簡単につけられる。
- 靴下はどんなにいろんなものを試して貼ってもうまくいかなかつたので、直接名前ペンで書くのが良かった。
- 靴下には小さくカットした名前テープを内側に縫い付けた。

実際の感想

- しおりに記載のあったパジャマ・パジャマ袋を準備したにも関わらず、必要なかったので園に確認してから準備すればよかった。実際のお昼寝の時には着替えはしない。（そのかわり、ほぼ毎日着替えてくる！）
- 100円ショップにも名前付けグッズがけっこうある。
- 上履きは指定のものを購入しないといけないと思っていたが、市販されている白い上履きならOKだった。
- 通園バッグのサイズは市販されているサイズとだいたい同じだが、着替えバッグは少し大きめのサイズであり市販されていない。ハンドメイドのネットショップで、気に入った絵柄でサイズ指定して制作してくれる。
- お昼寝布団を注文で購入したお母さんからは重くて持ち運びが大変という声が多く聞かれる。月2回くらい持ち帰るので、軽いほうがいいかもしれない。（ネットショップで綿100%のも

のもある。）

- 量販店で安く買ったので、子どもが良ければ手作りでなくてもそれでもいいかと思う。
- 手作りの方が良いと思い袋小物は手作りしたが、先生が見るだけなのでそんなに頑張らなくてもよかったです。



入園準備を経験されたすべての方からアンケートを取ったわけではないので、ごく一部の方からの情報ですが、みなさんとても工夫されて入園準備を乗り切ったようです！

ちなみに、袋小物を手作りされた方は回答いただいた方の6割でした。残りの方は、市販品を準備したり、手作りできる人に作ってもらったようです。

実際に手作りした方は、ネット検索や動画サイトの活用、本を購入したり、ミシン教室に通ったりして制作したそうです。

また、すべての袋小物を手作りしたのではなく、市販品も活用しているようです。

なかなか大変な入園準備ですが、お子さんと一緒に好きな布地やグッズを選んだり、楽しみながら準備ができるといいですね！

・・・ちなみに筆者は入園準備をきっかけにミシンの楽しさに気づいて、時々息抜きに小物を手作りするようになりました。

